

健康づくり推進協議会 会議経過要旨

会 議 名	令和 8 年度第 1 回木津川市健康づくり推進協議会		
日 時	令和 8 年 7 月 1 日（水） 午後 1 時 3 0 分から		場 所 木津川市役所 第 2 北別館 2 階会議室
出 席 者	委 員 ■：出席 □：欠席	第 1 号委員	■ 岡田 有史委員（副会長）
		第 2 号委員	■ 渡邊 誠之委員
		第 3 号委員	■ 細川 暢子委員
		第 4 号委員	■ 中山 裕之委員
		第 5 号委員	■ 山口 明浩委員 ■ 千葉 圭子委員（会長）
		第 6 号委員	■ 田中 啓之委員 ■ 小森 洋子委員
		第 7 号委員	■ 生田 悦子委員 ■ 市川 孝司委員 □ 中森 啓之委員 ■ 田中 敬士委員
	庶 務 （ 事 務 局 ）		健康推進課：小西課長、木村主幹、大川課長 補佐兼係長、内藤保健師、深井栄養士、藤澤 保健師、辻主事 こども家庭支援課：速見課長、東村課長補佐
傍 聴 者	なし		
議 題	1. 開 会 2. 挨 拶 3. 委員紹介 4. 議 事 （1）第 1 号議案 令和 7 年度事業報告について （2）第 2 号議案 令和 8 年度事業計画（案）について （3）第 2 次すこやか木津川 2 1 プラン～健康増進計画・食育推進計画～ 中間評価について （4）その他 5. 閉 会		

会議結果 要 旨	1. 開会 事務局より、開会を宣言した。 資格審査について、事務局より報告した。 2. 挨拶 小西課長より、第1回木津川市健康づくり推進協議会開催にあたり、挨拶があった。 3. 委員紹介 各委員自己紹介があった。 行政職員自己紹介があった。 4. 議事 (1) 第1号議案 令和7年度事業報告について 事務局より、資料を基に説明した。 (2) 第2号議案 令和8年度事業計画（案）について 事務局より、資料を基に説明した。 (3) 第2次すこやか木津川21プラン～健康増進計画・食育推進計画～中間評価について 事務局より、資料を基に説明した。 (4) その他 事務局より、資料を基に説明した。 5. 閉会
---------------------	--

会議経過
要 旨

1. 開会

開会宣言

【資格審査報告】

本日は、委員の過半数の出席をいただいておりますので、本会議が成立していることをご報告します。

2. 挨拶（小西課長）

本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。本日は米田健康福祉部長が他の公務のために不在ですので、代わってご挨拶いたします。平素は、本協議会の運営をはじめ、市政全般にわたりご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、本日多くの議事につきまして、ご審議いただきたいと考えております。中でも、後ほど令和7年度事業報告の中で報告があるかと思いますが、昨年度からがんの早期発見・早期治療のために導入いたしました胃内視鏡健診を756名の方が受診されました。本日お越しいただいております医療機関の先生方にもご協力いただき、ありがとうございました。

また同様に、市民の方々の健康増進のために、带状疱疹ワクチンの65歳以上の方への定期接種会に合わせて、市独自で50歳以上の方への接種費用の一部助成を開始し、延べ439名の方が利用されました。今年度につきましては、こちらは国の制度になりますが、令和8年4月より妊婦の方を対象としたRSウイルス感染症母子免疫ワクチンの定期接種を開始いたしました。本事業を通じて母子の健康維持と感染症予防の推進に努めてまいります。

また、本日の議題の一つでもあります、第2次すこやか木津川21プランにつきましては、今年度が10年の計画期間の5年目であり、中間評価の節目となっております。令和7年度には、市民アンケート調査を実施し、現在はその結果を元にこれまでの取組の成果や課題について、検証を行っております。本日の協議会では、市民アンケートの結果についてご報告させていただきますとともに、後期の取組に向けてご意見を賜りたいと考えております。

今後も市民の皆さまが生き生きと暮らせるまちの実現を目指し、子どもから高齢者まで切れ目のない健康づくりに取り組んでまいります。委員の皆さま方におかれましては、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが開催にあたってのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【配布資料確認】

3. 委員紹介

【各委員自己紹介】

【行政職員自己紹介】

4. 議 事

(1) 第1号議案 令和7年度事業報告について

(第1号議案資料)

事務局より、第1号議案について、資料を基に説明した。

なお、主な意見・質疑は次のとおり

委 員： がん検診の受診率は資料3にあります。令和3年度頃から特に肺がん、大腸がん等、全体的に下がってきている理由は、何かあるのですか。検診は毎年受診者が固定化されるとよく言われますが、パーセンテージが減っているということは、新規対象者へのアナウンスがあまり上手くいっていないくて、年とともに受診する人が減り、その分対象年齢に入った人が増えていないこともあるのではないですか。

事務局： がん検診は緩やかに減少傾向にあります。国保年金課で人間ドッグ等も実施しているため、どちらかの検診の受診をお願いしている背景があります。木津川市では、がん検診は胃がん検診を除いて40歳以上のすべての方が毎年対象になっており、1月に対象者全員に案内の通知をしています。今年度のがん検診は終了していますが、がん検診受診の必要性についての案内等について、今後さらに検討していきたいと思います。

委 員： 带状疱疹ワクチンについて、年度初め頃からCM等の影響でかなり皆さん関心が高く、年度スタートと同時に希望者がたくさん来られました。生ワクチンと組換えワクチンの2種類があり、どちらも効果と金額を合わせると一長一短ありますが、一般的にデータで公表されているものでは、2回打つ組換えワクチンは圧倒的に予防効果が高いことは明らかです。生ワクチンを受けている方が令和7年度は延べ300人ほどで、組み換えワクチンが1,270人とあります。医師会で話をしていると、新しいワクチンをあまり好まない先生が実際にいます。もちろん長期的な安全性の懸念もありますが、例えば生ワクチンを受けている医療機関に偏りはあつたりするのでしょうか。基本的には患者さんが選びますが、わからない方が多いので、もしかしたら説明のされ方によって予防効果が高いものを選択する機会が失われている場合もあるかもしれないと思います。

事務局： 医療機関別の詳細データを持ち合わせていないので、今具体的に回答することは難しいのですが、医療機関によっては生ワクチンのみ実施しているところもあり、そのあたりは先生方にお任せしているところになります。偏りがあるかどうかについては、動向を注視していきたいと思います。

委員： 若年がん患者在宅療養生活支援事業について、1名1回限りと記憶していますが、報告では2名計5件利用されていて、継続で実施計画をしていただいています、この件数についての評価と啓発の関係、どこから紹介してもらえるシステムを今年度考えているのでしょうか。

事務局： 日常生活用具のレンタルは毎月上限額を設けていますが、同じ方からの申請が可能となっていますので、実施しているところです。令和7年度は5件の利用がありましたが、令和8年度は現在のところまだ利用申請はございません。利用に至る経過については、医療機関からの紹介が多いです。市のホームページでも周知していますが、ほとんどの場合は入院されている医療機関の地域連携室等からの紹介で利用に至っています。

議長： 第1号議案につきまして承認される方は拍手願います。

委員一同：（拍手にて承認）

（2）第2号議案 令和8年度事業計画（案）について

（第2号議案資料）

事務局より、第2号議案について、資料を基に説明した。

なお、主な意見・質疑は次のとおり

議長： 高血圧予防事業について、前年度から変更して健康教育参加者に食塩含浸濾紙の体験を実施する方針になりましたが、その経緯について説明いただけますか。

事務局： 前年度まで実施していた尿中ナトリウム比測定については、測定機器のレンタル期間が終了したことに加え、健康教育参加者に採尿をお願いすることによる負担も課題となっていました。そのため、参加者の負担軽減を図るとともに、より手軽に塩分摂取量の目安を確認できるツールとして、食塩含浸濾紙を導入した経過がございます。

議長： 令和8年度事業計画（案）について、承認いただける方は拍手願います。

委員一同：（拍手にて承認）

議長： この議案について承認されましたので、（案）を消してください。

（3）第2次すこやか木津川21プラン～健康増進計画・食育推進計画～ 中間評価について

（資料4・資料5）

事務局より、資料を基に説明した。

なお、主な意見・質疑は次のとおり

議長： 非常に膨大なアンケート調査項目ですが、必要な部分を抜粋して説明いただきました。ご質問、ご意見等があればお願いします。

委員： 目標値があり、それに対して達成したかどうかがありますが、これだけ多くの質問項目を作って、目標値を達成するために木津川市として全項目について何か活動をされているのですか。

それと、目標値の設定基準を教えてください。

事務局： 市の取組については、第1期プランの最終評価を行った上で5年前に第2期プランを策定しました。第1期から継続して実施している食育事業、歯科受診勧奨等については、継続して実施してまいりました。周知に力を入れてきましたが、アンケート結果を見ると目標数値を達成していないところも多かったので、最終目標値の修正や市の取組等も含めて、原因等について検討している段階です。

目標数値の設定基準は明確に決まっているものではありませんが、第1期プランからの経過を見て設定しています。

委員： 根拠があってアンケートを実施していると思いますが、一つ一つに数値目標を定める以上、何かしらアクションがないと、単なるアンケートで終わります。パーセンテージを上げること为目标にするのであれば、それに対応する啓発等が何かしらないと、何となく数値目標を設定して、何となく良くなりました、悪くなりましたになってしまいます。果たしてこれが、健康増進・食育推進につながるのか、疑問を感じます。

事務局： 健康推進課単体ですべての項目に対して取組を行うことは難しいので、市の関係課および関係機関の実施事業に協力しながら、さらに啓発や新規事業の模索もアンケート結果を踏まえて検討していきたいと思っています。

委員： むしろ全部するのは不可能だとすれば、例えば重点的に何項目か指定して事業を実施する等しても良いと思います。何となく多くのことを調べて、ほとんどそれが有効に実施されていないのであれば、あまりアンケート結果は意味がないと思います。効果的に食育分野を重点的に啓発活動します、木津川市の活動としてします、というほうがむしろ良いのではないかと感じます。

委員： 私もまったくの同意見です。今の話を聞いていてもボリュームが多すぎて、何が重要で何が重要でないのか、聞いている側は耳に入ってこないです。お金をかけてこれだけのアンケートをしても、これだけボリュームが多すぎると、結局何年後かに前回と比較してどうでしたと同じようなことが繰り返される。例えば肥満について何か啓発したとしても、痩せている人に肥満は良くないですと言っても別に意味がない。どちらかというと実際にそこから外れている人達にその声が届かないと、意味がないわけです。ボリュームが多す

ぎて收拾がつかなくて、結局何も進まないのではないかという気がしてならないです。これだけ色々ある中で、特にどこが重要なのかをもっとピックアップして、木津川市の中で、例えば一番市民の健康を阻害していることを選び抜いて対策していかないと、効率が悪すぎる。そのあたりを明確にしてもらわないと、毎回こういう会議をしても、結局は市民の自主性に全て任せるようなただの計画になってしまうのではないかと思います。

事務局： 5年前の結果を受けまして、木津川市では高血圧の患者が多いという、アンケート以外のところから見えてきた客観的な健康課題がありました。そこに対して、高血圧予防事業の取組を進めているところです。実際の患者数への反映は年数がかかると捉えています。健康推進課としては、高血圧、減塩に主に注視して取組を進めています。達成していない課題が多いので、さらにどこに注視して取組を進めていくか、現段階はそこに至るまでの分析途中になっています。また検討して計画に反映したいと考えています。

委員： アウトカムをどこに置くかが明確にあるわけではないので、一つの資料としては意味があると思います。各世代どうなっているのかよくわかります。食事についても果物はどうかが入っていて、食事として物を食べているのではなく、スープや果物で処理している。こういう網羅的なことでも実態がわかります。それが今の報告の中では、アウトカムに向けてこういう調査をしてこうだったというストーリーがないので、今のような話になると思います。ただ、決して調査自体がすべて悪いということではないです。例えば、健康増進の歯周病についても取り組まれています。京都府下でも木津川市の受診率は低いです。そしたら歯科に行っていないのかということ、この調査を見ると結構皆さん行っていることがわかります。調査結果を合わせると、歯科に行っている市民の割合は多いです。歯周病検診を増やすことについては、あまり注視しすぎなくても良いということが、この調査でわかります。どのように有機的につながっているかを検討するところが問題です。検診等の事業についても、ここの生活状況等と合わせて何が良いのかになると思います。高血圧についても、一般的には減塩ですが、医学的には減塩しすぎないということにもなります。ダイエットの中で糖質を制限しすぎない等、そういうところを調査するのには良いと思います。結果、市民の食生活の状況はどうか、どういう方向へ持っていきたいか、目標とするアウトカムをこの5年の結果の中から次のものを出すことが、一番重要になると思います。今日の報告では、何をどうするためにどうしたのかストーリーがわからなかったもので、今のような話になることはわかります。意見というよりコメントとして発言しました。

委員： 漠然としたイメージですが、木津川市と芳梅園が一緒になってされている健康チェックに参加して、骨密度を見てもらったり、体力

測定をしてもらったりしました。行政が商業施設でそういうことをこまめにしてくれることは有難いし、通りすがりでも立ち寄って関心を持つこともあるし、すごく有効だと思います。

私は南加茂台の「ころばん塾」に行っていますが、すごく人気があって、待機高齢者は1年待たないと入れないと言っているくらいです。南加茂台を拠点にされていますが、木津で教室をするとすごく人気で、週1回から増やしたそうです。関心が広がると思うので、地道に市民の中で活動してくれていることは有難いです。すぐに数値には現れませんが、身近なショッピングセンターで実施されていて寄った時もあり、友達に広げています。赤ちゃんから高齢者までデータ化されていて、各年代において違う角度からされていると思います。市や社協が実施している健康の取組は、有難いと思います。

議長： 先ほどの報告については、昨年度アンケート内容についての議論を経て実施した調査になります。今回は、検討の前に実態について周知いただくということになっています。

スケジュールの資料がありますが、今回は7月1日アンケートの結果報告です。報告を聞いて、さまざまな視点のご発言がありました。それを受けて、計画素案の検討に入るものと理解しています。計画検討の参考になるようなご意見をもう少し出していただければ良いと思います。

私が感じたのは、特に歯科の受診率が非常に高くなっていて、目標値を達成していました。さまざまなところで歯科健診の啓発事業を実施されていたり、あるいは歯科医で啓発の取組等もされていたりする中で、このような結果につながっているのだと思います。既存の啓発と歯科医師会との連携の中で、さらにどう受診率を継続し、アップしていくのか、今後の計画の中に含めてほしいと思います。

木津川市は、高血圧と糖尿病が高い結果が前回調査でも出ていたと思います。それに対する事業も進められていて、今年度は新規事業として組み替えて実施されています。それがどのように改善されていくのか、また、その啓発活動が非常に重要だと思います。

先ほど、委員から減塩ばかりを指導してもというご意見もいただきました。最新の研究や報告を得て、効果的な取組ができるようにさらに研究していただき、高血圧や糖尿病をいかに防止するかという取組も必要だと思います。

それから、どの世代も肥満の方が増加している結果が出ていました。食改の取組もかなり頑張っているのではないかと思います。朝食の野菜やたんぱく質が初期の調査結果より落ちている、朝食は食べているけど質に問題がある等、垣間見られたと思います。こういうことに工夫して地域で食改活動をしている、今後の計画にこういうことを活かせばということがあれば、お願いします。

委員： 毎月19日は食育の日ということでテーマを決めて、糖や塩分に関

してとか、献立で野菜をどのように取り入れれば良いか等、市役所で実施しています。ジュースには糖分がこれだけ入っていますとか置いています、それを見て皆さんびっくりされます。お豆腐にどれだけ醤油をかけているか試してもらい、そこに塩分が何グラム入っていますと伝えて、できるだけ塩分を摂り過ぎないように、つける食事の方法を伝えています。献立にも少しお野菜を足すと、栄養価的にも良い等、推進課の指導の下で実施しています。

議長： 地域で各団体が市と一体的に連携しながら取組を進めて、地域の方々の健康がレベルアップしていくための事業だと思います。各団体が健康増進に関わっていると思います。

資料を見ていると、子どもの運動量がかなり減っているようなデータも出ていましたが、そのあたりで何かありますか。

委員： 全部でなくても、前回より良くなった数値で、こんな施策を実施したから良くなったという例があればと思います。漠然と上下したではなく、成功例を教えてもらえれば納得できたと思います。

数値とは離れますが、自由意見で公園・スポーツ施設の充実に對する要望がたくさん見受けられました。市民の方は、スポーツやウォーキングができる公園や場所がほしいと思います。芝生だけの公園ではあまり行く気もしないと思いますが、毎日逆上がりするという目標が立てられるような施設が欲しいと思いました。

それと、食育や料理教室を開催してほしいという意見も見受けられました。先ほど19日に市役所で開催しているという話がありましたが、実施しているのに要望の声があるということは、伝わっていないのではないかと思います。アンケートで初めてこういうことがしたいと気がついているのかもしれませんが。広報に載せているとは思いますが、能動的に市民に伝える方法があればと思います。

議長： ポイントが見えにくかったところもありましたので、現状と前回調査と今回の目標がどこまで達成したか、地域の課題を明確にして次回は整理した報告をいただき、課題をあげていただきたいと思います。そしてその目標の達成に向けてどのような取組を考えているか、そのあたりを関連付けてお願いします。

(4) その他

(資料6)

事務局より、資料を基に説明した。

・食育レシピコンテストの審査員の推薦について連絡。

食育レシピコンテストについて、令和8年度から入賞レシピの周知方法を見直し、学校での周知を重点的に実施すること、また、従来行っていた入賞者レシピの市内飲食店でのメニュー提供に代え、学校給食での提供を検討し

	ていることを説明した。 これに伴い、これまで審査員として市内飲食店の代表者に協力していたが、今年度は健康づくり推進協議会委員の中から１名に審査員として協力を依頼したいこと、併せて事務局から小森委員を審査員として推薦したい旨を説明した。 ・健康づくり推進協議会委員の中から１名に審査員を依頼すること及び事務局から推薦した小森委員を審査員とすることについて諮ったところ、いずれも承認された。 ５．閉 会
そ の 他 特記事項	特になし。